

年月日	22	07	06	ページ	17	NO.	
-----	----	----	----	-----	----	-----	--

三菱UFJ信託銀など インフラ事業基盤参画 上下水道など発展促進

三菱UFJ信託銀行、SMFLみらいパートナーズ(東京都千代田区)は5日、グローバル・インフラ・マネジメント(同)、東急、インフロニア・ホールディングス(HD)が構築するインフラ事業プラットフォーム(基盤)に参画すると発表した。

同基盤は上下水道や

道路、空港などインフラの発展促進に向け、未稼働のインフラ案件に開発段階から投資するファンド「アセット・クリエーション・ファンド・シリーズ(ACF)」に、保有資産から得られる安定した継続収入を目的とするファンド「インカム・ファン ド・シリーズ(ICF)」という2種類のインフラファンドを含む。

ACFの組成総額は101億円。グローバル・インフラ・マネジメントが無限責任組合員(GP)としてインフラ開発・運用改善を行い、東急、インフロニアHD、三菱UFJ信託銀行とSMFLみらいパートナーズが有限責任組合員(LP)

として参画する。ICFの第1期組成総額は60億円。SMFLみらいパートナーズとグローバル・インフラ・マネジメントがGPとして、三菱UFJ信託銀行などの国内機関投資家に運用機会を提供する。第1号案件として、秋田県八峰町の風力発電事業に投資した。